

漁港は 魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

平成26年11月15日 発行
毎月 1回15日発行
編集兼 公益社団法人 全国漁港漁場協会
発行人 田中潤児
東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階
電話 東京(5114)9981
定価 1部 70円
(会員の購読料は会費の中に含む)

第65回全国漁港漁場大会

東京都で開催

全国から1300人が参加

第65回全国漁港漁場大会(主催)Ⅱ(公社)全国漁港漁場協会、後援Ⅱ東京都、東京都漁業協同組合連合会、東京都漁港漁場協会、協賛Ⅱ全国漁港海岸防災協会)が、10月23日、東京都港区のメルパルクホールにおいて、江藤拓衆議院農林水産委員長、山田俊男参議院農林水産委員長、衛藤征士郎衆議院議員(漁港漁場漁村整備促進

議員連盟会長)、本川一善水産庁長官、白須敏朗(一社)大日本水産会会長はじめ多くの来賓と全国から漁港漁場漁村関係者約1300人の参加を得て盛大に開催された。今大会では、燃油価格の高騰、消費者の魚離れ、魚価の低迷なども加わり、水産業、漁村を取り巻く環境が一段と厳しくなっているなか、水産資源回復対策、漁港等の高

度衛生管理対策、漁港・漁村の防災・減災対策や施設の長寿命化対策などの必要性を踏まえ、漁港・漁場・漁村・海岸の整備の促進に係る諸施策の積極的な推進が図られるよう、全国の漁港漁場関係者の総意をもって政府、国会等に対する提言を採択し、その実現のため要請行動を行うことを決議した。

大会は、午後1時に開



全国から多くの関係者が集結した

議事に入り、議長の出発を前に、議長に藤本昭夫(一社)大分県漁港漁場協会会長(姫島村長)を選出した。藤本議長の進行で議案の審議を行い、議案「漁港・漁場・漁村・海岸整備の促進に関する件」について、中田勝久兵庫県漁港漁場協

会し、はじめに田中潤児全国漁港漁場協会会長が主催者挨拶を行った。来賓挨拶に移り、最初に本川長官が公務のため欠席となった中川郁子農林水産大臣政務官の祝辞を披露した。次に江藤拓衆議院農林水産委員長、山田俊男参議院農林水産委員長、衛藤征士郎会長に続いて、白須敏朗大日本水産会会長がそれぞれ祝辞を述べた。祝辞の後、出席した来賓の国会議員の紹介を行うとともに安倍晋三自由民主党総裁をはじめ多くの方から祝電が届けられたことを紹介した。

議事に入り、議長の出発を前に、議長に藤本昭夫(一社)大分県漁港漁場協会会長(姫島村長)を選出した。藤本議長の進行で議案の審議を行い、議案「漁港・漁場・漁村・海岸整備の促進に関する件」について、中田勝久兵庫県漁港漁場協



議長の本川昭夫大分県漁港漁場協会会長



盛合敏子岩手県漁協女性部連絡協議会会長

再生プラン」(発表者 寿都町漁業協同組合専務理事 木村親志氏)の三例の取組事例の発表後採決を行い、議案は満場一致で採決された。

議長の名指しにより、盛合敏子岩手県漁協女性部連絡協議会会長(一社)岩手県漁港漁村協理理事)が、採決された内容を取りまとめた提言案を朗読、満場の賛同の拍手により採決された。

採決された要案のもとに全国漁港漁場協会、各都道府県漁港漁場協会、全国漁業協同組合連合会長の連名による提言書を作成し、政府、国会その他各方面に働きかけ、提言事項の実現に努めることとして議事を終了した。

このほか、会場では、漁船海難遺児育英募金が行われたほか、(一社)漁港漁場新技術研究会会員の新しい技術等を紹介する展示が行われた。

提言

我々は、先人から受け継いだ豊かな海の自然環境を守り、水産業と漁村の健全な維持、発展に日々努めることにより、国民に良質な水産物を提供し、健康的で豊かな日本の食文化を支えてきました。

しかしながら、我々を取り巻く環境は、水産資源の減少、漁業の担い手の減少と高齢化に、燃油価格の高騰、消費者の魚離れや魚価の長期低迷なども加わり、非常に厳しい状況にあります。

このような状況を打破し、水産日本の復活を図るために、我々は、新鮮で安全・安心を旨とした水産物の品質・衛生管理対策により消費拡大と輸出促進を図るとともに、藻場・干潟など漁場の環境保全に取り組み、水産資源の回復に努めております。

また、地域自らが考え、漁業収入の向上や漁業コストの縮減に努めるとともに、水産物、豊かな自然、漁村文化など様々な地域資源を活用した漁村の活性化に取り組んでおります。

さらに、東日本大震災の被災地においては、道半ばにある復旧・復興の加速化と水産業の力強い再生に力を結集して取り組むとともに、南海トラフを始めとした大規模地震津波やこれまで経験したことのない強大な台風などに備えて、防災・減災対策と漁港の長寿化に取り組み、災害に強い漁業地域の実現を目指しています。

我々は、このような取り組みの実践により、豊かな海の自然環境と魅力ある水産業を次世代に伝え、漁村を豊かで安心して暮らせる場とするため、課せられた役割を果たしてまいります。

このためには、力強い支援が必要であり、左記の事項の推進を強く提言いたします。

記

- 一 水産物の消費拡大と輸出促進に資する漁港の高度衛生管理対策
- 一 漁場整備による豊かな生態系と水産資源の回復対策
- 一 災害に強い漁港・漁村づくりのための防災・減災対策、長寿命化対策
- 一 水産業・漁村の活性化を目指した多面的機能発揮対策、産地水産業強化対策

平成二十六年十月二十三日

第六十五回全国漁港漁場大会

主催者挨拶

(公社)全国漁港漁場協会会長

田中 潤児



第65回全国漁港漁場大会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。特に、公務が多忙のなか、江藤拓衆議院農林水産委員長、

また、本大会の開催にあたり、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

我が国の水産業、漁村は、安全・安心で良質な水産物を安定的に提供するだけでなく、沿岸域の環境の保全、国境監視など重要な役割を果たしております。しかしながら、水産業を取り巻く環境は、水産資源状況の悪化、漁業の担い手の減少・高齢化に、燃料価格の高騰、消費者の魚離れ、魚価

の低迷なども加わり、一段と厳しくなっております。更に、近い将来発生が懸念されている大規模地震・津波やこれまで経験したことのない台風、集中豪雨などに備えて、災害に強い地域づくりが急がれております。

こうしたなか、日本の豊かな海の自然環境を守り、国民の皆さんに安全・安心な水産物を安定的に提供していくためには、我々関係者が一致団結してこのような状況を克服しなければなりません。このためには他の水産

施策と連携しつつ、生産の場としての漁場の整備や水域環境の保全による水産資源回復対策、漁港や産地市場の高度衛生管理対策、漁港・漁村の防災・減災対策や施設の長寿命化対策などを着実に進めていくとともに、これまで以上に整備された施設や豊かな自然な環境を守り、国民の皆さんに安全・安心な水産物を安定的に提供していくためには、我々関係者が一致団結してこのような状況を克服しなければなりません。このためには他の水産

祝辞

衆議院農林水産委員長

江藤 拓



本日ここに「第65回全国漁港漁場大会」が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

御承知のとおり、我が国の水産業・漁村は、新鮮で安全な水産物を安定的に供給する役割だけでなく、豊かな自然環境の形成、海の安全・安心の提供など、国民の豊かな生活を支える多面的な機能を発揮しております。

こうした状況に対処するため、「水産基本計画」及び「漁港漁場整備長期計画」に基づき、各般の施策が展開されております。また、「農林水産業・地域の活力創造プラン」では、かつては世界一を誇った日本の水産業の復活が謳われ、浜の活性化や資源管理

の取組、水産業の出口戦略・マーケットインの展開による消費・輸出の拡大等が掲げられております。これらの施策の展開に当たって、十分な予算の確保が求められるところであります。

このような時、全国の漁港・漁場・漁村の関係者が一堂に会され、水産業・漁村の活性化の推進等に向け、決意を新たにされますことは、誠に意義深いものがあります。

私も衆議院農林水産委員会といたしましては、皆様方の御意思を体し、水産業・漁村の再生のために、活発な議論を展開し、豊かで活力のある漁港・漁場・漁村の実現が図られますよう、全力を傾注してまいります。

終わりに、本大会の御成功と皆様方の御健勝を心からお祈りいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

祝辞

農林水産大臣政務官

中川 郁子

(代読) 水産庁長官 本川一善



本日ここに、全国漁港漁場大会が開催されるに当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本大会は、昭和24年の第1回大会以来、本年で65回を迎えることとなりました。この間、関係者の皆様におかれましては、「水産日本の復活」に向けて、各種の水産施策を講じている整備促進はもとより、漁

高い持続可能な漁業・養殖業の展開及び活力ある水産業・漁村の実現を図ってまいれる所存です。

具体的には、所得向上を目指す「浜の活力再生プラン」の策定を通じた浜の活性化や、資源管理の充実が図られるよう努力してまいれる所存です。

全国の関係者の皆様におかれましては、水産物の消費・輸出拡大を推進するため、漁港の高度衛生管理対策や水産資源の回復を目指した水産環境整備を推進していくこととしております。

また、東日本大震災からの復興・復興につきまると、我が国水産業の益々の発展、並びに本日御出席の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

また、東日本大震災からの復興・復興につきまると、我が国水産業の益々の発展、並びに本日御出席の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

また、東日本大震災からの復興・復興につきまると、我が国水産業の益々の発展、並びに本日御出席の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

祝辞

参議院農林水産委員長

山田 俊男



本日ここに、第65回全国漁港漁場大会が開催されるに当たり、参議院農林水産委員会を代表し、一言ご挨拶申し上げます。

まず、水産業及び漁村の振興にご尽力を頂いておられます皆様をはじめ、関係者の方々に對し、衷心より敬意を表しますと

また、水産資源の増殖・培養に不可欠な藻場・干潟の造成等の漁場整備や漁村のインフラ整備についても、着実に進めていく必要があると考えております。

さらに、東日本大震災被災地について、政府は、平成27年度末までに漁港施設や海岸保全施設の復旧をおおむね完了させる

また、水産資源の増殖・培養に不可欠な藻場・干潟の造成等の漁場整備や漁村のインフラ整備についても、着実に進めていく必要があると考えております。

さらに、東日本大震災被災地について、政府は、平成27年度末までに漁港施設や海岸保全施設の復旧をおおむね完了させる

また、水産資源の増殖・培養に不可欠な藻場・干潟の造成等の漁場整備や漁村のインフラ整備についても、着実に進めていく必要があると考えております。

さらに、東日本大震災被災地について、政府は、平成27年度末までに漁港施設や海岸保全施設の復旧をおおむね完了させる

また、水産資源の増殖・培養に不可欠な藻場・干潟の造成等の漁場整備や漁村のインフラ整備についても、着実に進めていく必要があると考えております。

さらに、東日本大震災被災地について、政府は、平成27年度末までに漁港施設や海岸保全施設の復旧をおおむね完了させる



ただ今紹介を賜わりました大日本水産会の会長白須でございます。また、先ほどは大勢の港漁場大会の開催、誠にめでたいでございます。い中で、将来の水産業の

祝辞

(一社)大日本水産会会長

白須 敏朗

ただ今ご紹介を賜わりました大日本水産会の会長白須でございます。また、先ほどは大勢の港漁場大会の開催、誠にめでたいでございます。い中で、将来の水産業の発展につながる大変暖かい励ましのお言葉、エールを贈っていただきまして誠にありがとうございます。水産業界を代表いたしました厚くお礼を申し上げます。

東日本大震災から3年半が経過しました。国の支援、そして大勢の皆様方からの支援に加え、被災地の水産関係者の大変な努力もございまして、震災からの復旧・復興は着実に進んできております。水揚げ、漁船の数も震災前の水準に近づいておられます。仮設も入れますと概ね9割くらいの漁港において水揚げが可能になっている状況でございます。

しかしながら、先ほどもお話がありましたように、大幅に地盤沈下をした施設、敷地の嵩上げの問題や小規模漁港の復興の問題等、まだまだ残された課題が多いわけがございます。私も大日本水産会といたしまして、引き続き被災地の復旧・復興に向けてしっかりと支援を続けてまいりたいと考えております。

また、水産業の使命と責任を重んじて、何と云っても消費者、国民の皆さんに対する水産物の安定供給は、漁業の根幹をなしているものがございます。震災前の水準に近づいておられます。仮設も入れますと概ね9割くらいの漁港において水揚げが可能になっている状況でございます。

しかしながら、先ほどもお話がありましたように、大幅に地盤沈下をした施設、敷地の嵩上げの問題や小規模漁港の復興の問題等、まだまだ残された課題が多いわけがございます。私も大日本水産会といたしまして、引き続き被災地の復旧・復興に向けてしっかりと支援を続けてまいりたいと考えております。

また、水産業の使命と責任を重んじて、何と云っても消費者、国民の皆さんに対する水産物の安定供給は、漁業の根幹をなしているものがございます。



国会議員をはじめ、多くの来賓が出席した

祝辞

漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長

衛藤 征士郎



漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長、衆議院議員の衛藤征士郎でございます。我が国の水産業を取り巻く環境は極めて厳しいものがあります。水産資源の減少、担い手の減少・高齢化、また魚離れ、魚価の低迷、燃油の高騰など非常に厳しいものがあります。

このようななかにあつて、今日ご出席の皆様は、議員連盟会長、衆議院議員の衛藤征士郎でございます。我が国の水産業を取り巻く環境は極めて厳しいものがあります。水産資源の減少、担い手の減少・高齢化、また魚離れ、魚価の低迷、燃油の高騰など非常に厳しいものがあります。

このようななかにあつて、今日ご出席の皆様は、議員連盟会長、衆議院議員の衛藤征士郎でございます。我が国の水産業を取り巻く環境は極めて厳しいものがあります。水産資源の減少、担い手の減少・高齢化、また魚離れ、魚価の低迷、燃油の高騰など非常に厳しいものがあります。

漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長、衆議院議員の衛藤征士郎でございます。我が国の水産業を取り巻く環境は極めて厳しいものがあります。水産資源の減少、担い手の減少・高齢化、また魚離れ、魚価の低迷、燃油の高騰など非常に厳しいものがあります。

このようななかにあつて、今日ご出席の皆様は、議員連盟会長、衆議院議員の衛藤征士郎でございます。我が国の水産業を取り巻く環境は極めて厳しいものがあります。水産資源の減少、担い手の減少・高齢化、また魚離れ、魚価の低迷、燃油の高騰など非常に厳しいものがあります。

このようななかにあつて、今日ご出席の皆様は、議員連盟会長、衆議院議員の衛藤征士郎でございます。我が国の水産業を取り巻く環境は極めて厳しいものがあります。水産資源の減少、担い手の減少・高齢化、また魚離れ、魚価の低迷、燃油の高騰など非常に厳しいものがあります。



1300人の漁港・漁場・漁村関係者が東京に集結した

第65回全国漁港漁場大会に祝電・メッセージを下された方々(順不同、敬称略)

自由民主党総裁	安倍 晋三
自由民主党幹事長	谷垣 禎一
民主党代表	海江田 万里
次世代の党党首	平沼 赳夫
衆議院議員	小里 泰弘
衆議院議員	松本 純

出席された国会議員(順不同、敬称略)

衆議院農林水産委員長	江藤 拓
参議院農林水産委員長	山田 俊男
漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長 衆議院議員	衛藤 征士郎
衆議院議員	赤澤 亮正
衆議院議員	遠藤 敬
衆議院議員	加藤 寛治
衆議院議員	金田 勝年
衆議院議員	北村 誠吾
衆議院議員	斎藤 洋明
衆議院議員	鈴木 俊一
衆議院議員	長島 忠美
衆議院議員	宮路 和明
参議院議員	青木 一彦
参議院議員	井原 巧
参議院議員	岩城 光英
参議院議員	江島 潔
参議院議員	紙 智子
参議院議員	北村 経夫
参議院議員	酒井 庸行
参議院議員	高野 光二郎
参議院議員	堂故 茂
参議院議員	長峯 誠
参議院議員	野村 哲郎
参議院議員	藤川 政人
参議院議員	三宅 伸吾
参議院議員	山下 雄平
参議院議員	山田 修路
参議院議員	山本 順三
参議院議員	横山 信一

出席された来賓(省庁など)(順不同、敬称略)

水産庁長官	本川 一善
水産庁漁港漁場整備部長	高吉 晋吾
水産庁漁港漁場整備部計画課長	中泉 昌光
水産庁漁港漁場整備部整備課長	岡 貞行
水産庁漁港漁場整備部防災漁村課長	木島 利通
水産庁漁港漁場整備部防災漁村課水産施設災害対策室長	石井 馨
衆議院調査局農林水産調査室長	奥井 啓史
参議院農林水産委員会調査室長	稲熊 利和
東京都港湾局離島港湾部計画課長	片寄 光彦
東京都産業労働局農林水産部水産課長	中野 卓

出席された来賓(団体)(順不同、敬称略)

(一社)大日本水産会会長	白須 敏朗
漁船保険中央会会長理事	山田 隆義
(一社)マリノフォーラム21代表理事長	井貫 晴介
(一社)全日本漁港建設協会会長	長野 章
(一財)漁港漁場漁村総合研究所理事長	影山 智将
(一社)漁港漁場新技術研究会会長	橋本 牧
(公財)漁船海難遺児育英会専務理事	鈴木 基之
(一社)漁業情報サービスセンター常務理事	淀江 哲也



すくも湾漁協の水産業BCPの4本柱



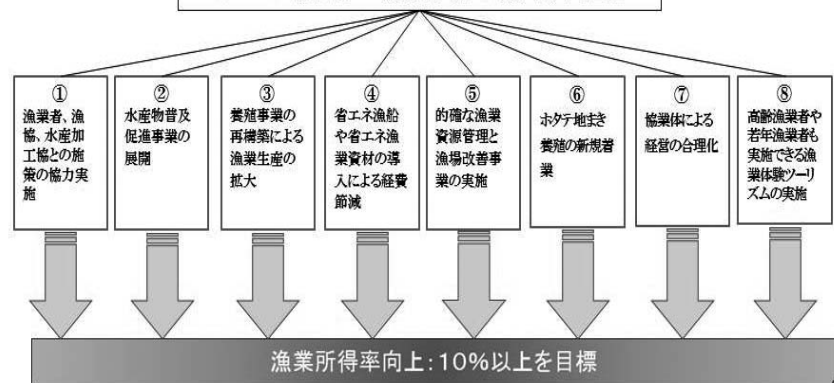
鹿児島県高山漁協青壮年部はウニの駆除活動などを通じ藻場の造成に取り組み、豊かな里海を取り戻しつつある

寿都町「浜の活力再生プラン」:漁村再生プロジェクト

【背景】

- (1) サケ・マス・イカ・ホッケ等の回遊魚の生産が不安定
- (2) ウニ・アワビ等の磯根資源の減少
- (3) 全道でも早い時期から、魚貝類の種苗放流「つくり育てる漁業」を推進、協業体組織による資源管理
- (4) 近年では、サクラマスを始め、ニシンの放流事業を推進
- (5) ウニ・アワビ等の資源の持続的利用を図るため「磯焼け対策事業」や「密漁監視体制」を強化
- (6) ホッケ資源の回復を図るための自主規制

8つの戦略=漁業者の所得向上



代理の方が出席された国会議員(順不同、敬称略)

衆議院議員	麻生 太郎	衆議院議員	西村 康稔
衆議院議員	井林 辰憲	衆議院議員	西銘 恒三郎
衆議院議員	井上 貴博	衆議院議員	額賀 福志郎
衆議院議員	伊東 良孝	衆議院議員	根本 幸典
衆議院議員	伊藤 忠彦	衆議院議員	野田 毅
衆議院議員	石破 茂	衆議院議員	浜田 靖一
衆議院議員	泉原 保二	衆議院議員	林田 彪
衆議院議員	今村 雅弘	衆議院議員	藤井 比早之
衆議院議員	小里 泰弘	衆議院議員	細田 博之
衆議院議員	勝俣 孝明	衆議院議員	三ツ矢 憲生
衆議院議員	金子 万寿夫	衆議院議員	三原 朝彦
衆議院議員	金子 恭之	衆議院議員	宮腰 光寛
衆議院議員	亀岡 偉民	衆議院議員	森 英介
衆議院議員	川田 隆	衆議院議員	保岡 興治
衆議院議員	神田 憲次	衆議院議員	山本 公一
衆議院議員	木村 太郎	衆議院議員	山本 幸三
衆議院議員	岸 信夫	衆議院議員	山本 有二
衆議院議員	國場 幸之助	衆議院議員	湯川 一行
衆議院議員	坂本 剛二	参議院議員	石井 準一
衆議院議員	桜井 宏	参議院議員	石井 浩郎
衆議院議員	清水 誠一	参議院議員	大家 敏志
衆議院議員	末吉 光徳	参議院議員	金子 原二郎
衆議院議員	高鳥 修一	参議院議員	熊谷 大
衆議院議員	竹下 亘	参議院議員	島田 三郎
衆議院議員	武井 俊輔	参議院議員	鶴保 庸介
衆議院議員	武田 良太	参議院議員	中泉 裕司
衆議院議員	津島 淳	参議院議員	中西 祐介
衆議院議員	富樫 博之	参議院議員	長谷川 岳
衆議院議員	富岡 勉	参議院議員	林 芳正
衆議院議員	中川 郁子	参議院議員	舞立 昇治
衆議院議員	中村 裕之	参議院議員	牧野 たかお
衆議院議員	西川 京子	参議院議員	松山 政司
衆議院議員	西村 明宏	参議院議員	吉川 ゆうみ

漁船海難遺児育英会

多くの参加者が募金

全国漁港漁場大会では、「漁船海難遺児育英募金」活動が恒例となっている。

今大会においても（公財）漁船海難遺児育英会が鈴木基之専務理事を先頭に、大会会場において募金活動を行った。多くの参加者が募金活動に答え、大会が始まる頃には多くの参加者が胸に「水色の羽」を付けていた。

募金を呼びかける職員ら。募金した人には、「水色の羽根」を配った



（一社）漁港漁場新技術研究会 会員による展示



多くの漁港・漁場・漁村関係者が足を止めて、展示に見入ったり、質問するなどしていた



会場入り口風景



フォトスケッチ



パネルなどを使った展示の様子

2014 漁港漁場漁村海岸写真コンクール

入賞作品決定!

(公社) 全国漁港漁場協会と
 全国漁港海岸防災協会の共催、
 (一財) 漁港漁場漁村総合研究
 所と(一社) 水産土木建設技術
 センターの協賛、水産庁後援に
 よる2014漁港漁場漁村海岸
 写真コンクールの入賞作品が、
 第65回全国漁港漁場大会の場
 で発表された。

入賞作品は、特選1席(農林
 水産大臣賞)1点、特選2席(水
 産庁長官賞)1点、特選3席(全
 国漁港漁場協会会長賞、全国漁港
 海岸防災協会会長賞、漁港漁場漁
 村総合研究所理事長賞、水産土
 木建設技術センター理事長賞)
 各1点、入選5点、佳作10点で、
 入賞者は別表の通り。
 なお、入賞作品は全国漁港漁
 場協会のホームページに掲載し
 ています。

2014漁港漁場漁村海岸写真コンクール入賞者一覧

入賞	題名	氏名
特選1席	だんらん	山本 幸平(三重県志摩町)
特選2席	網の手入する日	坂本 義治(東京都足立区)
特選3席	群舞	滝沢 康幸(長野県須坂市)
特選3席	カツオ節の天日干し	佐藤 榮利(静岡県西伊豆町)
特選3席	白波立てて	乗松 賢二(愛媛県松山市)
特選3席	潮騒	門林 泰志郎(福島県いわき市)
入選	神馬疾走	小栗山 秀男(千葉県九十九里町)
入選	瀬戸内のめぐみ	吉田 勝三(山口県下松市)
入選	観客を乗せて	小野 正宏(群馬県沼田市)
入選	磯街道の曲線美	野元 健作(鹿児島県鹿児島市)
入選	老婦の愉しみ	浜口 正雄(三重県志摩市)
佳作	漁師の宝物	大藪 俊行(東京都北区)
佳作	カモメを従えて走る漁船	玉田 美佐緒(滋賀県近江八幡市)
佳作	お先に失礼	太田 誠二(新潟県新潟市)
佳作	スタートダッシュ	家城 洋之(静岡県焼津市)
佳作	たまりすくい	三ツ井 道代(静岡県掛川市)
佳作	大海を独り占め	斎藤 孝子(岡山県岡山市)
佳作	季節の贈り物	福田 修逸(青森県蓬田村)
佳作	"捕まえたぞー"	川崎 信義(長崎県佐世保市)
佳作	海の幸を求めて	稲葉 太一郎(奈良県生駒市)
佳作	和布刈神事	松井 浩美(京都府長岡京市)



特選1席

農林水産大臣賞



特選2席

水産庁長官賞



特選3席

全国漁港漁場協会会長賞



特選3席

漁港漁場漁村総合研究所理事長賞

特選3席

水産土木建設技術センター理事長賞



特選3席

全国漁港海岸防災協会会長賞



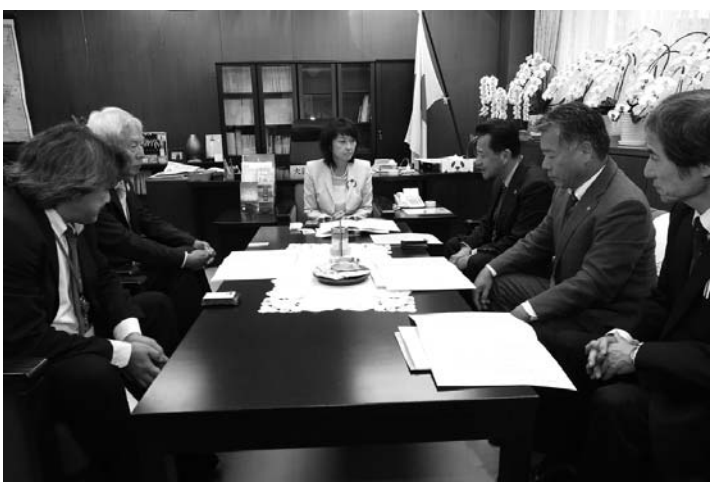
全国漁港漁場大会決議の要請行動

財務省、農水省、国交省等に要請

第65回大会終了後、各県協会代表者は大会決議の実現をはかるため、要請行動を実施した。

要請行動は、各省庁への要請を行う「合同要請」(今年度の幹事県を中心に3班編成)と都道府県漁港漁場協会が地元選出国会議員に要請を行う「個別要請」に分かれて行った(合同要請参加県は合同要請終了後に地元選出国議員に要請)。

財務省では、山口県漁港漁場協会の野村興児会長(秋市長)、佐藤裕志常務理事(山口県漁港漁場整備課長)、宮城原漁港漁場協会の亀山紘会長(石巻市長)、松平清常務理事(宮城県水産業基盤整備課長)及び田中潤児会長ら12名が、田中一



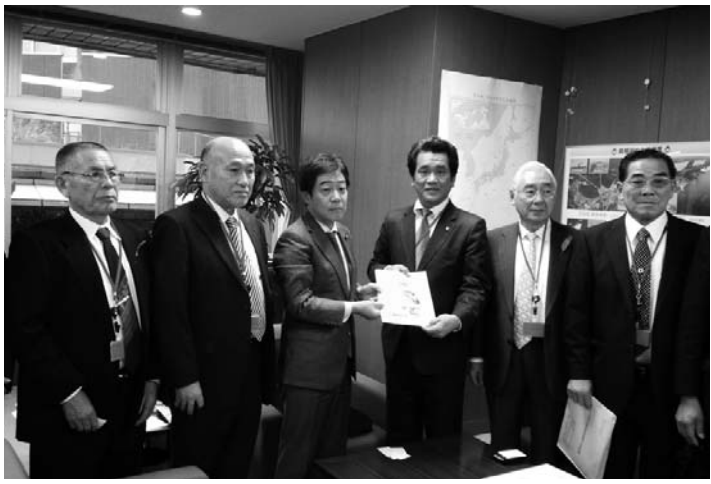
中川郁子農林水産大臣政務官に要請



田中一穂財務省主計局長に要請



高村泰夫財務省主計局主計官に要請



青木一彦国土交通大臣政務官に要請

漁場協会の五十嵐安哉副会長(山形県漁協代表理事組合長)ら14名が、提言書を手交し、地元の水産業の再生・漁村の活性化のためには、本提言の実現が不可欠とし実現方を強く要請した。

提言書の要旨は次の通り。
 【漁港・漁場・漁村・海岸整備の促進に関する提言】
 一、水産物の消費拡大

(一社)全日本漁港建設協会 各研究部会研究課題報告会開催

(一社)全日本漁港建設協会は、11月7日(金)午後4時から東京都内の霞山会館において、各研究部会研究課題報告会を開催した。

この報告会は、全日本漁港建設協会の正会員と賛助会員が共同して調査研究を進めているテーマについて発表するもので、昨年度から開始され、今回が2回目の開催となる。会員や関係者等約60名が参加した。

各研究部会の演題及び発表者は次の通り。
 ○PC構造避難誘導デッキ技術研究会・漁村総研WG
 ・津波避難誘導デッキの計画と設計(一財)漁港漁場漁村総合研究所(中村克彦)
 ○水域環境改善工法調査研究会
 ・自立するフラップゲート式防潮流ねor isseの特徴と施工事例のご紹介(日立造船(株))
 ・グラウンドアンカーによる既存岸壁の補強工法(一財エスアイ)
 ・海抜0mからの避難誘導灯



報告会のようす

報告会終了後懇親会が行われ、約50名が参加し、盛會裡に終了した。

平成26年度 日本水産工学会 シンポジウム

水産インフラの長寿命化の推進に向けて

日時：平成26年12月6日(土) 13:00~17:00
 会場：東京海洋大学 2号館100A教室

主催：日本水産工学会
 共催：(独)水産総合研究センター水産工学研究所、(一財)漁港漁場漁村総合研究所、(一社)水産土木建設技術センター、(一社)全日本漁港建設協会、(一社)漁港漁場漁村総合研究所、(一社)漁港漁場漁村総合研究所、(一社)漁港漁場漁村総合研究所
 後援：水産庁、(公)全国漁港漁場協会




プログラム

13:00	開会挨拶	日本水産工学会 会長 大竹 臣哉
13:10	開催趣意説明	西崎 孝之 水産庁 西崎 孝之
13:30	漁港施設等の長寿命化について	水産庁 西崎 孝之
13:50	水産基盤施設ストックマネジメントの導入・実践と課題	(一社)水産土木建設技術センター 内山 裕三
14:10	漁港のコンクリート構造物に対する簡易機能診断手法の開発・導入	(独)水産総合研究センター水産工学研究所 金田 拓也
14:30	漁港施設の鋼構造物に関する老朽化診断と保全対策	(一社)漁港漁場漁村総合研究所 吉田 倫夫
14:50	漁港施設の補修・修繕工法の開発・導入	(一社)全日本漁港建設協会 牛田 久喜・三輪 啓司
15:25	漁港施設の機能保全における課題	(一財)漁港漁場漁村総合研究所 伊藤 靖
15:45	漁業集排水処理施設の老朽化診断と対策	(一財)漁港漁場漁村総合研究所 大賀 之雄
16:10	総合討論	座長 三上 信雄
17:00	閉会	日本水産工学会 企画委員会 委員長

参加費：1,000円(会員・非会員)
 申し込みは、(一社)全日本漁港建設協会 田原宛に氏名及び所属を11月28日までにEメール(m.tahara@zenkyoken.jp)又はFAX(03-6661-1166)により申し込んでください。
 問い合わせ先：(一社)全日本漁港建設協会 尾形、田原 電話 03-6661-1155 Eメール m.tahara@zenkyoken.jp

福岡県漁港漁場協会 漁港漁場関係担当者研修会

(一社)福岡県漁港漁場協会は福岡県水産振興課の協力を得て、平成26年度漁港漁場関係担当者研修会を10月21日午後1時30分から福岡市の「ホテルレガロ福岡」において、県・市町・県漁連・漁協等から45名が参加を得て開催(写真)した。

この研修会は県内の漁港漁場関係担当者を対象としたもので、水産庁、(一社)水産土木建設技術センター、福岡県から講師を招き、「平成27年度水産基盤整備事業概算」について、



研修会は午後1時30分から、(一社)福岡県漁港漁場協会の佐藤政俊会長、福岡県水産振興課の石田祐幸課長の挨拶のあと研修に入り、午後4時30分までの長時間であったが参加者は熱心に聴講していた。

【内容及び講師】

研修会は午後1時30分から、(一社)福岡県漁港漁場協会の佐藤政俊会長、福岡県水産振興課の石田祐幸課長の挨拶のあと研修に入り、午後4時30分までの長時間であったが参加者は熱心に聴講していた。

漁港往来

自10月1日 至10月31日

10月8日(水) 出張
 高知県漁港漁場協会 事務局長 山本貞夫 氏
 愛媛県漁港漁場協会 事務局長 若洲博文 氏

10月9日(木) 出張
 熊本県漁港漁場協会 事務局長 若洲博文 氏

○平成二十七年水産基盤整備事業概算要求及び関連事業について…水産庁漁港漁場整備課 西崎孝之課長補佐
 ○最近の漁港漁場整備の取り組みについて…(一社)水産土木建設技術センター 内山裕三調査研究部長

熊本県漁港漁場協会が総会を開催

熊本県漁港漁場協会(会長・中村五木天草市長)は、10月8日午後4時から、熊本市の「ホテル熊本テルサ」において、平成26年度通常総会を開催した。

総会は中村会長の挨拶に続き、梅本茂熊本県農林水産部長(平岡政宏水産局長代読)及び橋本牧(公)全国漁港漁場協会顧問が来賓祝辞を述べた。

第2回理事会を開催

全国漁港漁場協会(公)全国漁港漁場協会は、10月23日午前11時30分から港区メルパルクにおいて平成26年度第2回理事会を開催し、平成26年度収支予算の変更、第65回全国漁港漁場大会付議議案、第66回全国漁港漁場大会開催地決定及び前水産庁漁港漁場整備部長の宇賀神義宣氏を理事として本協会の顧問に推薦することについて審議を行い、原案通り承認された。

また、報告事項として、平成26年度(上半期)職務執行状況報告が説明され、原案通り承認された。